



労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●	・就業規則に差別や各種ハラスメントの禁止について定め、ハラスメント対策会議にて各種ハラスメント防止体制を構築している。 ・ユニセクスのユニフォームを取り入れることでジェンダーレスへの取り組みや差別、人権侵害がない誰もが働きやすい環境を整えている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●	・業務上・交通安全等の安全講習会を年6回、食品衛生委員会を年2回、安全衛生委員会を月1回実施することで安全で衛生的な労働環境整備に取り組んでいる。 ・高所作業の場合ヘルメット・安全着の着用を徹底している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●	・国籍・性別・年齢問わず、同一労働同一賃金の対応を行っている。						5.5			8.5		10.2 10.3						
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●	・就業規則にて育児・介護休暇の制度を設け、家事と育児の両立が出来る体制を構築している。 ・繁忙時に短期スタッフを採用することで、社員の総労働時間の平準化を図っている。			3			5.5			8.5 8.8		10.3						
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●	・接客サービス向上のため、講習会やOJTを実施している。 ・新規雇用者(外国人雇用者含む)については「おもてなし検定」を会社負担にて受験させ、接客レベルの向上を図っている。				4	5.5				8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●	・幹部社員が担当者となり、直接社員の心身の状況確認を目的とした面接を週3回程度、各部署にて実施している。 ・温泉施設等の活用により従業員に対しても心身ともにリフレッシュ可能な環境を提供している。 ・年1回健康診断を会社負担にて受診する他、ワクチン接種を推奨し、接種後の休暇をとれる体制を整備している。 ・健康増進法に基づき、ホテル客室・館内および駐車場を含め禁煙に取り組んでいる。 ・【予定】2023年10月までに、健康経営優良法人の認定を目指す。			3						8								17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●	・女性役員が在籍し、女性・外国人・障がい者・高齢者等のすべての人材を積極的に雇用し、活躍できる環境を整備している。 ・退職年齢は65歳であるが、再雇用制度を設け長期で働ける環境を整えている。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●	・当社宿泊施設「大自然」で「ワーケーション」ができる空間を提供しており、お客様に対しても新しい生活様式へのサービスを提供している。 ・マスク着用・検温・アルコール消毒・パーティションを完備し感染症対策に努めている。 ・WEBでのオンライン営業を東京や台湾・韓国・香港などにて実施している。 ・社内や社外でのWEB会議を推奨している。			3						8	9.1		11	12				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	・館内案内にQRコード、予約会計システムにクラウド、社内伝達にスマホアプリの採用や客室での事前決済システムを導入し、デジタル化に取り組んでいる。 ・全室に無料Wi-Fiを完備している。									8	9.1		11	12				
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●	・【予定】2023年6月までに、プライト企業の認定を目指す。			3	4					8	9			12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・廃棄物や洗剤等は適切な業者に委託し、管理・処理している。			3.9							11.6	12.4		14.1	15.1									
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・独自の管理シートにて電気・ガス・重油等の使用量を把握し、月毎の削減目標を定め、会議にて振り返りを行い削減に努めている。 ・電力の制御盤等の省エネシステムを導入し電力使用量削減に取り組んでいる。 ・館内は全てLED化完了、営業車は5年前よりハイブリット車へ都度切り替えを行っている。													13										
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・独自の管理シートにて電気・ガス・重油等の使用量を把握し、月毎の削減目標を定め、会議にて振り返りを行い削減に努めている。 ・【予定】2022年11月までに、簡易計算シートを使用してCO2排出量を把握する。			2.4										12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・ホテル周辺・谷川の清掃を定期的実施している。 ・洗剤等環境への影響が懸念されるものは業者に依頼し処理することで適切に対応している。															14	15							
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・食品ロス削減のため、調理日報にて人数や仕入れを毎日確認し、幹部ミーティングを実施している。 ・アメニティーについてはプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に基づき、脱プラスチックに貢献する他、分別を徹底しリサイクルに努めている。							9.4						12.2 12.4 12.5		14.1	15							
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・11本の豊富な源泉があり、多彩な温泉を提供している。 ・ホテル裏にある大杉の根元から湧く天然水を活用したコーヒーを提供している。 ・沸き水については給水処にて宿泊者に無料提供している。 ・浄水場を設置し、毎日水質を点検・管理している。			2.4							11.5					14.1 14.2 14.3	15		17					
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に基づき、シャンプー等については、リユース型の製品を使用している。								9.4					12.4 12.5	13	14	15							
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●	・食品ロスの削減のため、調理日報にて人数や仕入れを毎日確認し、幹部でのミーティングを実施している。既存予約人数分の料理のみ準備し、当日予約分はその都度料理を増やすことでロスを無くしている。 ・食品ロスを強く意識したメニュー構成、メニュー開発の徹底により、フードロス削減に取り組んでいる。		1	2											12.3		14	15	17					
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・各施設の玄関にツツジ等の植栽を行い、緑の創出と保全に取り組んでいる。											11.6 11.7			13.1 13.3		15		17					
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・エココートを導入し、省エネに努めている。 ・電気の制御盤にアラームを設置し、無駄な電力を使用しないよう取り組んでいる。										9.4		11.5			13.1 13.3								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●														11.3 11.4 11.5	12.2	13		15						
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●														6.1 6.3 6.6			11.3 11.4 11.5	12.2	13	15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に基づき、シャンプー等については、リユース型の製品を使用している。 ・使い捨てアメニティーの削減に取り組んでいる。 ・ペットボトルのリサイクルに努めている。																12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●	・送迎可能な体制を整備し、お客様に安心して公共交通機関の利用を頂ける環境を整備している。 ・福岡からの直行往復バスがお得で便利である旨、WEB含め4か国語にて対応し宣伝・推進している。											9.4		11.2			13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																	7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.17

